

国史跡中里貝塚 保存活用計画策定委員会 かわら版

第5号(令和元年7月発行)

中里貝塚の保存・活用・整備に向けた具体的な方向性を
話し合う保存活用計画策定委員会の第8回会議を開催しました！

令和元年6月10日に北区飛鳥山博物館にて第8回「中里貝塚保存活用計画策定委員会（以下「委員会」という。）」を開催しました。今回の委員会では、議題3つと報告2つがあり、活用・整備の具体的な内容や今後の史跡整備事業の進め方について、検討を行いました。

第8回委員会（令和元年6月10日）

議題

- (1) 保存・活用に向けた基本方針（大綱）
および保存管理計画について
- (2) 活用計画および整備計画案について
- (3) 運営体制の整備および経過観察案について

報告

- (1) 中里貝塚委員会だより（かわら版）の発行
- (2) ワークショップの報告

主な意見

- ・史跡の学術的な側面を軸足として、地域住民の方々の協力を得ながら、史跡の活用を図る形で進めると良いと思う。
- ・短期的計画において、次年度からすぐに取り組める内容と、少し時間がかかるものを分けて整理してほしい。

※第1～8回の概要は、北区飛鳥山博物館のホームページにて公開しています。



●本委員会は、傍聴いただけます。くわしくは、事務局（北区飛鳥山博物館）までお問い合わせください。

中里貝塚とは…国内最大規模の貝層を有する、縄文時代の“水産加工場”です。マガキとハマグリ
の干貝加工に伴い廃棄された貝殻が、最大4.5mの厚さで堆積し、貝類の剥き身処理に関わる遺構なども発見されている貴重な遺跡です。



<保存活用計画とは>

国指定の文化財等について、保存活用の考え方を明確化し、必要な諸手続などを整理して、文化財等の確実な継承を図るために作成する計画です。

お問い合わせ（事務局）

北区飛鳥山博物館

TEL：03-3916-1133

<http://www.city.kita.tokyo.jp/hakubutsukan/>



■本かわら版は、委員会で話し合われた内容等を昭和町地区自治会連合会管内の皆様にお知らせするため発行するものです。